

# 部局別業務棚卸一覧表 (都市整備部)

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式1

部局重点活動目的(H17年度)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	部局重点活動目的設定理由
	予算総額	従事職員総数		
<p>都市基盤が整備され、市民が快適に暮らすまちを形成するため、計画的な土地利用・まちづくりを推進しながら、美しいまちなみの形成、憩いの場としての公園緑地の整備、便利で快適な住環境の創造、安全で快適な交通網の整備、都市機能が集積し都市のメリットを享受できるにぎわいの核づくりにつとめる。</p> <p>特に、次の取り組みについて重点化する。</p> <p>にぎわいの核としての秋田駅周辺地区整備の一環として、西口駅前広場の再整備・駅東西歩道橋(Weロード)西側昇降口の整備を事業化する。</p> <p>同じく、秋田駅周辺地区整備の一環として秋田駅東第三地区土地区画整理事業、秋田駅西北地区土地区画整理事業を推進する。</p> <p>中通一丁目地区市街地再開発事業の推進を図る。</p> <p>都市内の地域特性に応じた公共交通機関の整備に向け、バス交通総合改善事業を実施する。</p>	都市基盤の整備などにより快適な都市生活をおくることができていると感じている市民の割合	未実施	80%	<p>平成17年1月11日の河辺町・雄和町との合併に伴い、広域化する行政圏に対応するとともに、人口34万人の県都たるにふさわしいまちづくりが求められることになる。これまでも、4核1軸構想等により県都にふさわしいにぎわいのある中心市街地の実現に向けてまちづくりの側面から努力してきたところであるが、拠点センターアルヴェの整備によるにぎわい効果も追い風に、平成19年秋田わか杉国体の開催を見据えながら、秋田駅周辺地区の整備を重点化する必要がある。とりわけ、秋田中央道の作業ヤードとして使用している西口広場の再整備と、Weロードを自転車対応とする駅東西歩道橋西側昇降口の整備は急務である(東口は自転車対応改修済み)。また、秋田駅東第三地区および同西北地区の区画整理事業については、秋田駅に近接した地区において、事業が長期化しており、このままでは、目的とするにぎわいの形成に影響が出かねない。関係市民のためにも、事業効果を早目に出現せしめるためにも事業を重点化し、整備手法も工夫しながら進める必要がある。さらに、中心市街地の活性化における目玉事業である中通一丁目地区市街地再開発事業については、民間における新たな事業計画に対応し、時期を失することなく市として適切な措置を講ずる必要がある。</p> <p>市民の移動手段の確保と充実をはかるため、公共交通の利用環境を整備する必要がある。公共交通機関の中心となる乗り合いバス事業に関しては、市交通局の赤字解消を図るため民間事業者への路線移管を進める一方で、赤字路線については、国・県と協調して助成を行ってきたところである。しかしながら、赤字分助成については、事業者自身の負担分があることから、年々進行する市民のバスばなれ=赤字の拡大とともに事業者の路線維持が難しくなっている。このままでは、事業者の路線そのものからの撤退=さらなるバス離れというサイクルに陥る可能性があり、事業者に効率的なバス路線への再編やダイヤ調整を促しながら、代替輸送サービスの試行も含んだ抜本的な対応策を早期に講ずる必要がある。</p>
	6,055,585千円(一般会計)	154人 (部長級4、次長級4、課長級9、課長補佐級17、主席主査29、主査20、主事14、技師33、技能主任5、技能員2、技能技師16)		

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名) 担当業務目的(上位目的達成手段)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	H16主要事業	H17見直し案の要旨
		予算総額	従事職員総数			
		成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
		予算額	従事職員数			
都市整備部における事務事業が適切に執行される環境を整える。		適正処理率	100.0%	100.0%	市全体の施策形成過程と関わる。	
		4,909千円	10.9人			
1	<b>庶務経理業務</b> (都市総務課 庶務担当) 都市整備部における施策の調整を行うとともに、庶務経理を行う。	適正処理率	100.0%	100.0%	連絡調整業務 庶務経理業務	
		4,909千円	10.9人			
美しいまちなみを保全、創出できる。		市民アンケートによる満足度	-	60.0%		
		7,830千円	4.8人			
2	<b>都市景観形成業務</b> (都市総務課 都市環境担当) 優れた都市景観をつくり育てていくため、市民一人ひとりが主体となって取り組むまちづくりを推進する。	都市景観形成の取り組みに参加した市民	665人	1000人	都市景観条例に基づく誘導 屋外広告物条例に基づく規制 都市計画法に基づく地区計画区域における建築物等の届け出 審議会等の運営	
		7,830千円	4.8人			
都市内の地域特性に応じた公共交通機関が整備され、円滑に移動できる。		公共交通利用者反応		60.0%	行政システム改革室のバス事業改革	
		150,900千円	2.8人			
3	<b>バス交通総合改善事業 バス路線維持対策補助業務</b> (都市総務課 交通政策室) 市民の移動手段の確保と充実をはかるため、バスを中心とした公共交通の利用環境を整備する。	バス路線のカバー率	現状維持	現状維持	シビルミニマム(公共交通機関として最低限のサービス水準)の確保	・事業者に効率的なバス路線への再編やダイヤ調整を促しながら、代替輸送サービスの試行も含んだ抜本的な対応策を早期に講ずる必要がある。
		150,900千円	2.8人			
都市内の道路(車道、歩道)と駐車場が整備され自動車や人が円滑に移動できる。		道路利用者反応				
		11,955千円	0.5人			
4	<b>駐車場案内システム運営業務</b> (都市総務課 交通政策室) 秋田駅周辺の交通の円滑化をはかるため、秋田駅周辺駐車場の空き情報を提供する。	駐車場利用者における同システム利用率	7.5% (H12実績)		駐車場案内システムの適切な運営	・案内システムの廃止に向けて、関係機関と協議を行っている。
		11,955千円	0.5人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
	(課所室 担当名)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
	担当業務目的(上位目的達成手段)	予算額	従事職員数			

	土地利用のビジョンとルールができていて、みんなが理解し守ることができる。	市民アンケートによる満足度、理解度	-	60.0%		
		26,184千円	21人			
5	<b>都市計画策定業務</b> (都市計画課 計画担当) 土地利用や建築に関するルールを定めるほか、道路や公園等の公共施設を適切に配置するなど、秩序ある市域の発展及び整備・開発・保全のため、現状の問題等を検証し、これに対応する計画等を策定・変更する。	都市計画施設進捗指数(交通施設・公共空地・供給処理施設進捗率の単純平均)	52.7%	60%	都市計画の決定及び変更 都市計画事業用地(先行取得用地)への対応	・高速交通体系に対応した地域振興に資する交通体系整備を行うため、総合交通体系調査を実施する。 ・平成17年度は、市街化地域の定期見直し及び用途地域の大幅な変更(工業専用関係)を行う。
		20,715千円	7人			
6	<b>土地区画整理事業推進業務</b> (都市計画課 区画整理担当) 適切な公共施設の配置や、不整形な土地の区画変更を行い、安全で快適な住環境を整備するため、個人・組合施行の土地区画整理事業の認可・指導を行う。	都市計画事業の進捗率(実施済面積/計画面積)	94.0%	95.0%	土地区画整理事業の指導及び監督 秋操駅南地区土地区画整理事業の精算業務	
		4,952千円	6人			
7	<b>開発行為等許可・指導業務</b> (都市計画課 開発指導担当) 都市計画に適合した土地利用のため、開発・建築・取引等の行為に対し許可・指導を行う。	空地率(市街化区域における未利用地の割合)	2.15%	2.0%	都市計画法に基づく開発行為の許可および指導等 道路位置の指定(建築基準法) 建築行為等の許可および指導等 土地取引の規制等に関する事務	
		517千円	8人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
	(課所室 担当名)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
	担当業務目的(上位目的達成手段)	予算額	従事職員数			

	建築物の質の向上及び市民が安心して住むことができる環境づくり。	良質で安全な建築物のストックが図られ、安心定住できると考える市民の割合(アンケート調査)	未実施	70.0%		
		18,484千円	17.9人			
8	<b>建築物の許認可・指導等業務</b> (建築指導課 審査指導担当) 市内の建築物等が、安全・安心・快適となるよう審査指導を行う。	完了検査申請率(完了検査申請件数/確認件数)	73.62%	80%	建築基準法の適正な運用を図る 既存建築物の安全性を確保する 人と環境にやさしい建築物をふやす まちなみに関わる許認可を適正に行う 建築物関係のトラブルを予防・解決する	
		3,595千円	16人			
9	<b>秋田市住宅マスタープラン推進事業等</b> (住宅整備課 住宅企画担当) 市民の快適な暮らしを支えるため、良質な住宅のストック・良好な住環境の整備を行う。	市民全体を対象とした住環境に関する満足度(アンケート調査)	-	50%	誰もが安心して住み続けられる住まい・まちの形成 防災、健康に配慮した住まい・まちの形成 住宅宅地需要を踏まえた都市型社会の実現	
		14,889千円	1.9人			

	市民が住宅に困ったときに一時的に公営住宅に住むことができる。	住環境に関する満足度(アンケート調査)	未実施	70.0%		
		648,540千円	10.1人			
10	<b>市営住宅の建設担当業務</b> (住宅整備課 住宅企画担当) 住環境に配慮した良質な市営住宅を提供するため建替えなどの整備を進める。	市営住宅供給率(入居可能戸数/計画戸数)	86%	88%	ストック総合活用計画に基づく住宅改善事業	・新屋比内町建替事業に関する検討を行う(PFIの導入等整備手法も検討対象)。
		625,087千円	2.1人			
11	<b>市営住宅の管理担当業務</b> (住宅整備課 市営住宅担当) 住環境に配慮した良質な市営住宅を供給するため適正に管理する。	住宅稼働率	空家期間3ヵ月	空家期間2ヵ月	整備された市営住宅の適切な管理	
		23,453千円	8人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
	(課所室 担当名)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
	担当業務目的(上位目的達成手段)	予算額	従事職員数			

身近なところに公園があり、だれでもいつでも自由に利用できる。		利用者反応(満足度)	-	75.0%		
		517,728千円	34人			
12	<b>総務・管理担当業務</b> (公園課 総務担当、管理担当)	利用者からの意見数(クレーム等)	704件	500件	公園施設の質の向上を図る 市民が主体となって緑化推進を図る 誰でも気軽に利用できる施設運営を行う 公園地の使用許可等により、共有財産の適正かつ効率的な管理運営を行う	
	市民の公有財産である公園を、地域への一体感や愛着などを醸成し、誰でも安全で快適な公園として利用してもらうため、適切な管理運営を行う。	414,728千円	29人			
13	<b>建設担当業務</b> (公園課 建設担当)	市民一人当たりの都市公園面積	12.16㎡	12.62㎡	都市公園等の計画を策定する 計画を市民の公表する 都市公園等を整備する	
	市民のレクリエーションや憩いの場を確保するため、都市公園等を計画的に建設する。	103,000千円	5人			

地域内外から多くの人が行きたがる施設がある。		利用者反応(満足度)		75.0%		
		658,513千円	4人			
14	<b>太平山リゾート公園管理運営業務</b> (公園課 シビックリゾート担当)	利用者反応(満足度)		75%	多くの人に施設を利用していただく	・現在、第3セクター「太平山観光開発株式会社」に管理を委託しているが、地方自治法改正を受け、平成18年度4月から「指定管理者制度」を導入することとなっているので、管理委託のあり方について検討する。
	太平山リゾート公園等を、市民が安心して憩い楽しめる施設として利用してもらうため、適切な管理運営を行う。	658,513千円	4人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
	(課所室 担当名)	成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
	担当業務目的(上位目的達成手段)	予算額	従事職員数			

	秋田駅周辺地区を整備し、にぎわいのあるまちを形成する。	秋田駅周辺地区における整備面積	11.63ha	25.11ha		
		3,024,540千円	45.5人			
15	<b>土地区画整理事業業務</b> (駅東事務所) 秋田駅周辺の公共施設の整備改善と土地の利用増進を図る。	計画達成の施行地区面積	8.07ha	10.25ha	効率的な土地利用を行うために土地の再配置を行う 建物等の移転を行う 公共施設の工事を実施する 事業量の設定と進行管理を行う 関係権利者との合意形成を図る	・秋田駅東第三地区について、施行期間の半分を経過しながら進捗率は25%程度にとどまっており、事業の長期化とその弊害が懸念される。今後は、「明田外旭川線」の早期整備を中心課題として事業の進捗を図る。  ・秋田駅西北地区についても事業の長期化とその弊害が懸念されることから、「千秋久保田線町線」の早期整備を中心課題として事業の進捗を図る。
		816,000千円	18人			
16	<b>拠点整備業務</b> (まちづくり整備室 拠点整備担当) 秋田駅周辺の市民の利便性と快適性を高めるため、都市基盤(道路や公園など)を整備する。	事業費に対する事業進捗率(土地区画整理事業+まちづくり総合支援事業+同交付金事業)	75.18%	95.52%	秋田駅拠点地区土地区画整理事業の推進 秋田駅周辺地区まちづくり総合支援事業の推進 秋田駅周辺地区まちづくり交付金事業の推進	・拠点地区土地区画整理事業については、公共施設等の整備は終了し、平成17年度に換地処分を行い完了の予定。 ・まちづくり総合支援事業は、平成16年度で終了。 ・上の後継となるまちづくり交付金事業では、駅東西歩道橋(Weロード)西口昇降口整備工事など西口の整備を行う予定。
		388,588千円	10人			
17	<b>再開発支援業務</b> (まちづくり整備室 再開発担当) 土地利用の合理的かつ健全な高度化、防災化等を図るため、地元発意のまちづくりを推進する。	市街地再開発事業等施行面積	3.6ha	4.6ha	市街地再開発事業等の促進・支援	・中通一丁目地区市街地再開発事業については、準備組合に対する指導・支援を行っている。 ・民間における新たな事業計画に対応し、時機を失することなく市として適切な措置を講ずる必要がある。
		4,627千円	3人			
18	<b>秋田駅周辺施設維持管理業務</b> (まちづくり整備室 再開発担当) 秋田駅東西連絡自由通路等の施設を安全かつ快適な環境に保つため維持管理する。	苦情件数	32件	0件	秋田駅周辺公共施設の維持管理	
		84,455千円	3人			

上位目的(部局目的達成手段)		成果指標	実績(H15)	目標(H17)	他部局関連施策	
No.	業務名称 (課所室 担当名) 担当業務目的(上位目的達成手段)	予算総額	従事職員総数		H16主要事業	H17見直し案の要旨
		成果指標	実績(H15)	目標(H17)		
		予算額	従事職員数			

19	<b>秋田市民交流プラザ管理・運営業務</b> (市民交流プラザ管理室) 新たな交流の核として、秋田拠点センターアルヴェを整備し、運営する。	入館者数(年間)		100万人	拠点センターを建設する 拠点センターの管理・運営 拠点センター民間事業者と協同で管理する 市民交流プラザの貸館業務 駅東人工地盤を整備する 公開空地を整備する その他関連事業の調整を行う NHK秋田放送会館の移転を促進する	
			1,730,870千円	11.5人		

20	<b>市民活動育成、支援業務</b> (市民交流プラザ管理室) 自己責任のもと、市民自ら行動できるよう市民力のアップをめざし、市民活動の育成や、支援を行う。	市民が自らまちづくりに参加する意欲を高めることができる	地域づくり参加の意思を持っている市民の割合	未実施	20.0%	企画調整部の市民活動支援 市民交流プラザを市民参加型施設として運営する	
			市民活動情報データベース(グループウェア)登録ID数		500件		
			11,055千円	2.5人			